

別紙標準様式（第 6 条関係）

会 議 録

会議の名称	第 2 回 枚方市立小中学校教室等空調設備更新 DBO 事業者選定審査会	
開催日時	令和 7 年 1 月 6 日（月）	開始時刻 1 4 時 3 0 分 終了時刻 1 6 時 0 0 分
開催場所	庁舎別館 4 階 第 4 委員会室	
出席者	会長：都築和代委員、副会長：大橋巧委員 委員：奥田善朗委員、岸田陽子委員、松尾博司委員	
欠席者	なし	
案件名	1. 開会 2. 諮問 3. プレゼンテーション及び質疑応答 4. 加点審査 5. 落札候補者の選定 6. その他	
提出された資料等の 名称	資料 1 提案書類 資料 2 価格評価点一覧表 資料 3 総合評価点一覧表 資料 4 審査結果報告書案 参考資料 1 諮問書（写） 参考資料 2 枚方市立小中学校教室等空調設備更新 DBO 事業者選定審査会 に係るプレゼンテーション実施要領 参考資料 3 市出席者一覧	
決 定 事 項	・ 提案受付番号：X 5 を落札候補者に選定する。	
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	非公開 枚方市情報公開条例第 5 条第 3 号及び第 6 号に該当するため。	
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	事業者選定後に公表（一部非公開） 枚方市情報公開条例第 5 条第 3 号に該当するため。	
傍聴者の数	0 人	
所管部署 （事務局）	総務部 契約検査課、都市整備部 施設計画課、施設整備課	

審 議 内 容

<開会>

会長： 定刻より少し早いですが、ただ今より、第2回枚方市立小中学校教室等空調設備更新DBO事業者選定審査会を開催いたします。

後ほど事務局より経過の説明がございますが、本日実施します加点審査の対象者は1者となりましたが、本事業は枚方市の重要な事業であるため、1者であっても提案を適正に評価することを目的として、本日の選定審査会を実施したいと考えていますのでよろしくお願いいたします。また、加点審査の結果を含めた総合評価点は公表されることになっています。

本日は、プレゼンテーション、質疑応答及びその後の審議について第1回の審査会で決定したとおり、すべて非公開で行いますので、よろしくお願いいたします。

なお、事務局については会議録の作成にあたりまして、会議内容の録音を認めます。また、プレゼンテーション及び質疑応答の撮影・録画を認めます。

それでは事務局から、昨年の第1回選定審査会からの経過報告と委員の出席状況と資料の確認をお願いします。

事務局： それでは、第1回選定審査会からの経過についてご報告させていただきます。昨年7月に開催いたしました第1回選定審査会では、落札者決定基準等の答申をいただきまして、ありがとうございました。その後8月に公告を実施し、事業者の選定を進めてきたところでございます。

第一次審査の参加資格の要件を満たしていたのは、当時3者おりまして、参加資格の決定を通知したところでございます。その後1者から辞退の申し出がございましたので、第二次審査はこの2者に対して、入札書と提案書の提出をしていただきました。また、その中で1者が本市の設定した価格を超過しておりましたので、落札者決定基準に基づき、失格となります。そのため、本日は基礎審査を通過した1者のみの加点審査を行っていただくこととなります。こちらがまず経過ということでございます。

事務局： 続きまして、本日の出席状況でございますが、本日は5名の委員にご出席いただいております。委員総数の2分の1以上となっておりますので、枚方市附属機関条例第5条第3項により会議が成立していることをご報告させていただきます。

事務局： ～資料の確認～

<2. 諮問>

事務局： 本日は諮問につきましても、都市整備部 部長の中村から会長へ諮問をさせていただきます。委員の皆様におかれましては、参考資料の1に、諮問書の写しをご用意させていただいておりますので、併せてご参照ください。

それでは会長、中村部長、前の方へ移動をお願いいたします。

事務局： ～諮問書の朗読（都市整備部 部長 中村）～

事務局： ありがとうございました。

＜ 3. プレゼンテーション及び質疑応答＞

【X 5 グループ】

事務局： 続きましてこの後、プレゼンテーションと質疑応答に移ることになるのですが、その前に事務局から簡単にご説明をさせていただきます。

本日、プレゼンテーション・質疑応答につきましては、グループ名は伏せて行います。応募者へもそのように伝えております。まず、応募者から 15 分間の説明をしていただきます。終了 1 分前にベルを 1 回鳴らし、終了時間で 2 回鳴らします。時間の管理は事務局でさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

では、会長、よろしくお願いいたします。

会長： それでは案件に移ります。はじめに提案書についてプレゼンテーションを受け、その後質疑応答を行いたいと思います。

X 5 グループの入室をお願いいたします。

X 5 グループ：～入室・プレゼンテーションの準備～

事務局： ～プレゼンテーション・質疑応答について説明～

＜非公開＞

会長： どうもありがとうございました。

事務局： 審査は以上となりますので、片付けをお願いいたします。

X 5 グループ：～退室～

事務局： これにて質疑応答を終わります。この後、審査へ入っていただきますが、仮評価の段階から変更等がございましたら、事務局までご提出いただきますようお願いいたします。

都築会長： では、加点審査の開始は 15 時 20 分とします。

～10 分休憩～

＜ 4. 加点審査＞

都築会長： 審査会を再開します。会議録の作成にあたりまして、会議内容の録音を認めます。
「次第 4. 加点審査」ですが、落札候補者選定のための最も重要な審議になりますので、よろしくお願いいたします。それでは事務局から説明をお願いします。

事務局： ～提案審査について説明～

会長： では審議に入ります。皆様全員にご確認いただいております提案内容と、本日のプレゼンテーション及び質疑応答の内容を踏まえ、いろいろな視点からご意見をいただき、審査会の合議として評価をまとめたいと思います。評価項目ごとに進めていきますので、確認しておきたい点やお気付きの点がございましたら、積極的にご発言ください。

 それでは評価項目について審議を行います。上から順に進めたいと思いますので、評価項目「本事業の実施に関する項目 No.1 事業実施における体制」から始めます。応募者の提案に関して、お気付きの点や評価した点はございますか。

会長： 今これを見ますと、Cが1件、Bが1件、Aが3件となっておりますが、ご専門の委員、何かございますか。

委員： 今回の判断基準上、ベースがCとっておりまして、要求水準どおりの普通であればCということで、Cとさせていただきます。

委員： 普通をどこに置くかで違うのかなという気がします。ではAが3件あったうちの代表として意見を述べさせていただくとしたら、こちらに「長期にわたり蓄積された技術のノウハウをそれぞれの課題に即して高品質なメンテナンスサービスを提供」とか「全国規模での管理能力を基盤に」ということで、これをこれが基準だと言われれば基準を満たしているということになって、著しく超えてというのは難しいのかなと思いますが、実施体制や、今日は構成員の方も来ていただきましたが、そういった分業体制でこれまでもやって来られていて、今後もそのように実施したいということでした。そこが確認できましたので、Aということになっています。

 委員が「リスクへの対応の妥当性」も基準はクリアしているのでCというお考えだとしたら、ほとんど私の考えと大きく相違はないのかなと思います。

 また本日、財務の健全性についてご質問いただきましたけれども、ご専門の委員よろしかったですか。

委員： 財務につきましては、決算書を見る限り、かなりよいと思います。ただあまり大きな会社さんではなかったので、そこだけは少し不安な部分があったので、それでSではなくAにしたところです。

会長： ありがとうございます。あとは「健全性」に関しては普通程度か以上ということと、もう一つの「地域経済への貢献」につきましても、市内でモノの発注をいただいて、また管理場所等も市内の近い場所で運営等もあり気にしなくてもよいというところを考慮してご検討くださったということでしたので、これを見てもみると、ほとんどがAということになっております。それで皆様よろしいでしょうか。

委員一同： 異議なし。

会長： ではNo.1につきましては、このまま全てAですので、この配点のところはどうするのでしょうか。今、No.1から4までやってしまいましたが、このままでよいですか。

事務局：	すみません。仮評価段階で専門の委員を決めさせていただいておりますので、ご意見を伺っていただければと思います。
会長：	そうですね、すみません。ではご専門の委員、お願いいたします。
委員：	No.1 がA です。
委員：	特に問題はないと思いました。私は平均を少し高めにしましたので、A の評価としました。
会長：	ありがとうございます。ではNo.3 です。
委員：	先ほど述べたとおりです。
会長：	平均的だということでA ですね。わかりました。
委員：	No.4 が「地域貢献」ということで、これもA ということになります。 続きまして、「空調設備の整備に関する項目」ということです。
委員：	施工部会で情報共有や、納期が長くなる可能性から先行して設計して資材を確保するとか、学校行事に対応した工事内容とか、色んな対処法を検討して工程を組んだところとか、きちんと多岐に考えていらっしゃるって、よくできておりましたので、加点の意味でA を付けました。
会長：	はい。ではNo.6 につきましては、ご専門の委員。
委員：	「空調設備の特徴」ですが、全般に高性能なものが入っているという認識でおりまして、特に IAQ センサーを導入して常時監視するとか、製品名で言うとナノイーX で花粉や PM2.5 等を抑制するような技術の導入ですとか、細かいですがドレン管関係で豪雨時に逆流しないような配慮をされているとかです。あと詳細提案校以外の学校を見ても、高効率な機種を導入するというご説明もありました。負荷計算が一部の対象室のみであるという少し妥当性に不明瞭な点もありますけれども、全般的にはプラス要素が多いということでA とさせていただきました。
会長：	ありがとうございます。続きましてNo.7 です、お願いします。
委員：	No.7 の「学校現場及び災害に配慮した設置」のところですが、屋外機器は架台を固定して室外機を設置する配慮や、過去の被害を踏まえて室外機に防風板を設置、更には床温センサーを設置して温度を検知し、暖房時の床温が低い場合には空気をかき混ぜるような記述もございましたので、プラス要素が多いということでA 評価とさせていただきます。

会長： では、ご専門の委員からNo.8の「整備に向けた安全確保の妥当性」についてお願いします。

委員： 大型機器の搬入時に誘導員を配置するというので、一定考えていただいているのでAということにしております。

会長： ありがとうございます。ではNo.9をお願いします。

委員： 「環境への配慮」ですが、先ほどのNo.6と重複しますが、IAQ センサーやナノイーXの導入、CO2 を常時監視して外気量を適正に管理するといったご提案や人感センサーなど、非常に盛りだくさんのご提案をいただいておりますので、ここでもAとさせていただきます。

委員： すみません、先ほどNo.8の評価で言い間違えたのですが、Bと書いております。私の加点の仕方というのは、評価項目でプラスの数が2つ以上あるとAで、3つ4つあるとSを付けているのですが、今回は1つしか入っていないので、これぐらいだと普通かなというところでBとしています。

会長： ありがとうございます。「空調設備の整備に関する項目」につきまして、A、A、A、B、Aということでしたが、これでよろしいでしょうか。

委員一同： 異議なし。

会長： では引き続きNo.10 です。「既設空調機保守点検業務に関する項目」につきまして、ご専門の委員からお願いします。

委員： No.10 につきましては、点検業務の部会を設置して課題検討を行うとか、代表企業に一元窓口を設けるとかですが、一般的なのかなということでBという評価をしております。

 No.11 につきましては、代表企業に一元窓口を設けるという内容になっておりますので、これも普通のBということで、特段の加点評価はしておりません。

会長： 続きまして、No.12 をお願いいたします。

委員： No.12 も同じく代表企業一元窓口ということで、同じBとしています。

会長： ありがとうございます。この「保守点検業務に関する項目」の3件につきましては、Bということになっております。よろしいでしょうか。

委員一同： 異議なし。

会長：	続きまして、No.13「維持管理業務の実施方針・実施体制・スケジュールの妥当性」につきまして、ご専門の委員、お願いいたします。
委員：	ここも代表企業で一元窓口を設けるという点、それから 24 時間 365 日の緊急時対応、そして定期的な内部洗浄の実施ということで、候補的には3つぐらいをご提案いただいていますので、Aという評価をしております。
会長：	ではNo.14「モニタリングの有効性」。
委員：	モニタリングで特徴的なのは、HVAC システムを導入されるということで、遠隔で管理するシステムですが、データ分析表を見やすい様式で提出とか、あるいは改善の余地がある場合にはきちんと助言しますとか、好事例がある場合には水平展開しますといった記述もございましたので、Aとさせていただきました。
委員：	No.15 は、故障率に応じた数量の部品確保や、終了後 1 年間は代表企業に問合せ窓口の設置とか、引継ぎチーム会を設置して終了後の適切な運用を図るということで、3つの加点的な内容がありますので、A評価とさせていただきます。
会長：	ありがとうございます。そうしますと、この「空調設備の維持管理に関する項目」につきましては、A、A、Aが3つでA評価ということでよろしいでしょうか。
委員一同：	異議なし。
会長：	次のNo.16「光熱水費への配慮」です。
委員：	光熱水費への配慮では、定期的に洗浄しますというのは、製品の機能を維持する上でもとても重要な点だと思いますし、先ほどのNo.9の項目とも重なりますが、CO2 センサーの導入や人感センサーで活動量まで検知するといった内容ですとか、ナイトページも導入されるようです。これらを勘案しましてAとさせていただきました。
会長：	ありがとうございます。これは1項目ですので、Aということでよろしいでしょうか。
委員一同：	異議なし。
会長：	続きまして、No.17「その他に関する提案」です。
委員：	スライム抑制剤とか窓ガラスの遮蔽塗料の塗装ですとか、少し変わったことをやっておられるので、加点要素かと思ひましてAとしております。
会長：	ありがとうございます。それでは、このNo.17「その他」につきましては、Aということにしたいと思います。

委員一同： 異議なし。

会長： では、以上となりますが、もう一度確認しておきたい点や言い忘れ等がありましたら、お願いいたします。

委員一同： 特になし。

会長： それでは、事務局で点数の集計をお願いいたします。

事務局： では、休憩時間を挟みまして、落札候補者の選定、審査結果報告書（案）の一部についてご審議をお願いしたいと考えております。

本日の会議録につきましては、事務局で案を作成したうえで、各委員の皆様にご確認いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

会長： それでは、落札候補者の選定については 15 時 45 分から開始いたします。よろしくお願いいたします。

～10 分休憩～

< 5. 落札候補者の選定 >

会長： では時間となりましたので、第 2 回枚方市立小中学校教室等空調設備更新 DBO 事業者選定審査会を再開します。

会議録の作成にあたりまして、会議内容の録音を認めます。

それでは事務局から資料の確認及び集計した点数の報告をお願いします。

事務局： お手元の資料の確認をさせていただきます。資料は、資料 2 から資料 4 となっております。それでは、集計の点数のご報告をさせていただきます。

まず、「価格評価点」について、資料 2 の価格評価点一覧表をご覧ください。「価格評価点」の配点は 500 点となっております。算定式を基に計算をしますと、X 5 グループが 253 点となります。

続きまして、資料 4 の総合評価点一覧表をご覧ください。「技術評価点」についても、配点は 500 点となっております。技術点は基礎点と加点で構成されており、要求水準チェックリストに適合していたため、基礎点は 200 点となります。

加点部分については、本審査会でご審査いただきましたとおり、

X 5 グループが 208 点でしたので、

合計しますと、

X 5 グループが 408 点になります。

「総合評価点」は「技術評価点」と「価格評価点」を合計したのになりますので、

X 5 グループが 661 点となります。

集計結果のご報告は以上です。

会長： ただ今の集計結果について、ご質問等はありませんでしょうか。

委員一同： 特になし。

会長： では、審査の結果、X 5 グループが落札候補者と決定しました。よろしいでしょうか。

委員一同： 異議なし。

会長： それでは、これより事務局へ審査結果を答申させていただきます。

事務局： それでは会長、中村部長、前の方へお越しください。

会長： ～答申書の朗読～

事務局： なお、落札候補者となりました X 5 グループの共同企業体名は、枚方三究共同事業体となりますことをご報告いたします。

< 6. その他 >

会長： 続きまして、審査結果報告書については、現段階で記載できる内容を事務局が記載し、資料 4 としてお配りしていますが、構成について、委員の皆様、何かご意見がございましたらお願いします。

委員一同： 特になし。

会長： ここに数字が入ったものだということです。では、このまま事務局で報告書の取りまとめをお願いしたいと思います。

これで時間となりました。その他、事務局から何かあればお願いいたします。

事務局： 事前にお渡ししておりました、応募者の提案書類につきましては、事務局で引き取らせていただきますのでよろしくお願いいたします。

全体講評等を含む審査結果報告書の最終案については、先ほどのご意見のとりまとめを踏まえて、各委員に送付のうえ、会長に最終確認し確定いたします。

また、本日の会議録につきましては、事務局で案を作成したうえで、各委員の皆様にご確認いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

会議録・審査結果報告書については、後日、市のホームページでの公開を予定しております。

最後に、勝手ながらお時間をいただきまして、都市整備部部長の中村より委員の皆様

へご挨拶させていただきます。中村部長、よろしくお願いします。

事務局： ～挨拶（都市整備部 部長 中村）～

<閉会>

事務局： それでは最後に、会長から一言いただければ幸いです。

会長： ～挨拶～

事務局： 会長ありがとうございました。
では、閉会させていただきます。

以 上